

藤井寺市病院跡地活用基本構想策定のための 市民アンケート調査結果 ＜速報版＞

令和6年11月

目次

1 市民アンケート調査の概要	
1-1 調査目的	4
1-2 調査項目	4
1-3 調査対象者	4
1-4 調査期間	4
1-5 調査方法	4
1-6 回収結果	4
1-7 留意事項	4
1-8 回答者の基本属性（設問1～5）	5
2 市民アンケート調査結果	
2-1 今後の公共施設のあり方について（設問6）	9
2-2 財政負担の軽減について（設問7）	10
2-3 市民病院跡地周辺を訪れる頻度（設問8）	11
2-4 市民病院跡地周辺を訪れる主な目的（設問9）	12
2-5 市民病院跡地周辺のイメージについて（設問10～15）	13
2-6 市民病院跡地に求める機能（設問16）	14
＜まとめ＞ 市民アンケート調査結果	15

1 | 市民アンケート調査の概要

1-1 調査目的

令和6年3月に廃院となった藤井寺市民病院（医師公舎含む）の跡地活用方策の検討にあたり、市民のみなさまの具体的な施設機能に関するご意見を、今後の取組の基礎資料として活用することを目的としています。

1-2 調査項目

- 基本的属性
- 今後の公共施設のあり方について
- 財政負担の軽減について
- 市民病院跡地周辺の来訪状況について
- 市民病院跡地周辺のイメージについて
- 市民病院跡地に求める機能について
- その他ご意見

1-3 調査対象者

市内在住の18歳以上の3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

1-4 調査期間

令和6年9月17日～令和6年10月4日

1-5 調査方法

- 郵送方式：調査票を郵送で配布し、郵送で回収
- インターネット方式：調査票の二次元バーコード（もしくはアドレス）からアクセスし、専用フォームで回答

1-6 回収結果

- a. 発送数 3,000件
- b. 有効回収数 905件
（郵送：634件、インターネット：271件）
- c. 回収率 30.2%(b/a)

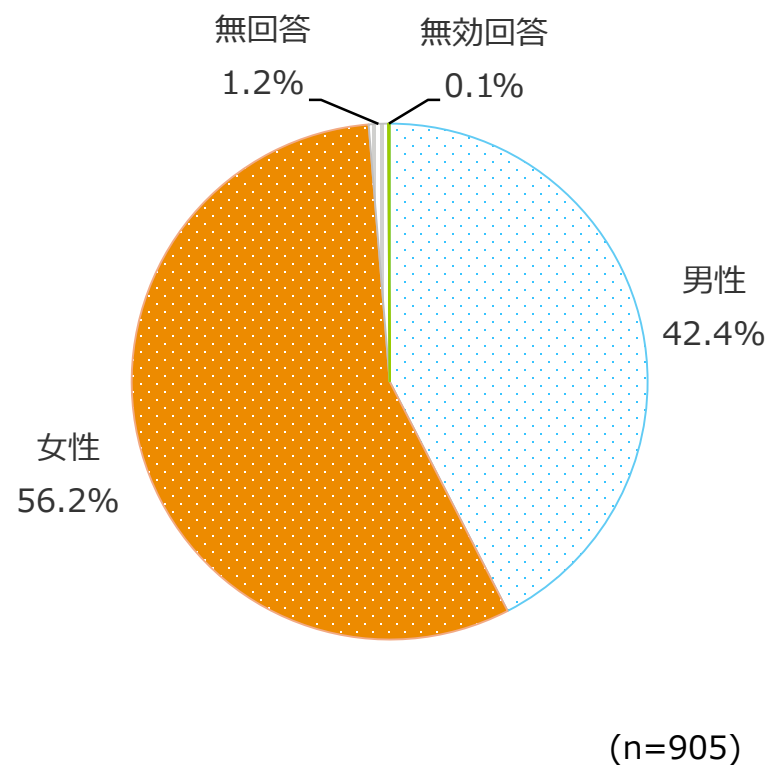
1-7 留意事項

- 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。
- 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率合計が100%と一致しない場合があります。

1-8 回答者の基本属性（設問1_性別、設問2_年齢）

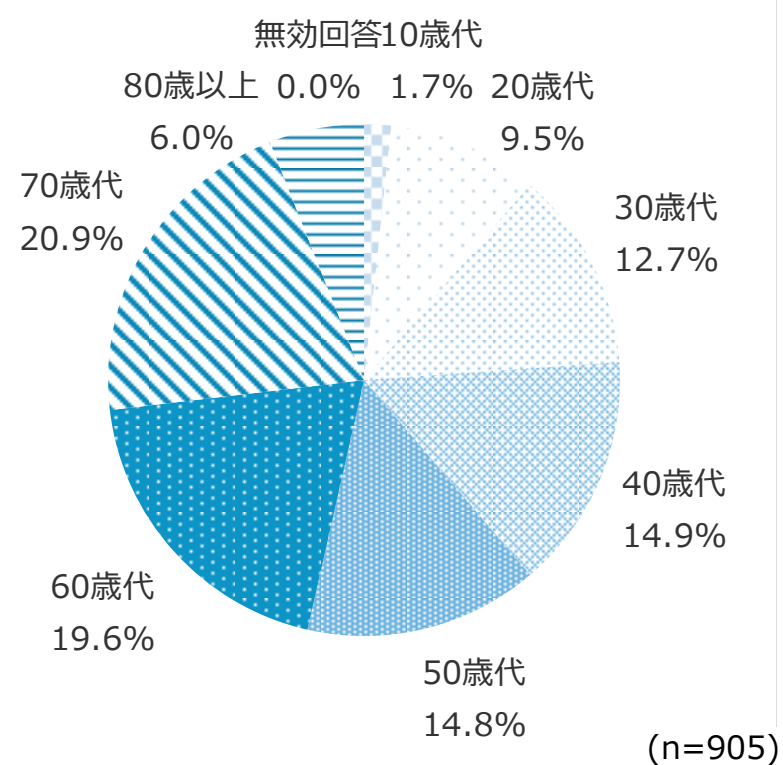
設問 1. 性別を教えてください。（1つ選択）

- 回答者の性別は、男性が42.4%、女性が56.2%、無回答が1.2%となっています



設問 2. 年齢を教えてください。（1つ選択）

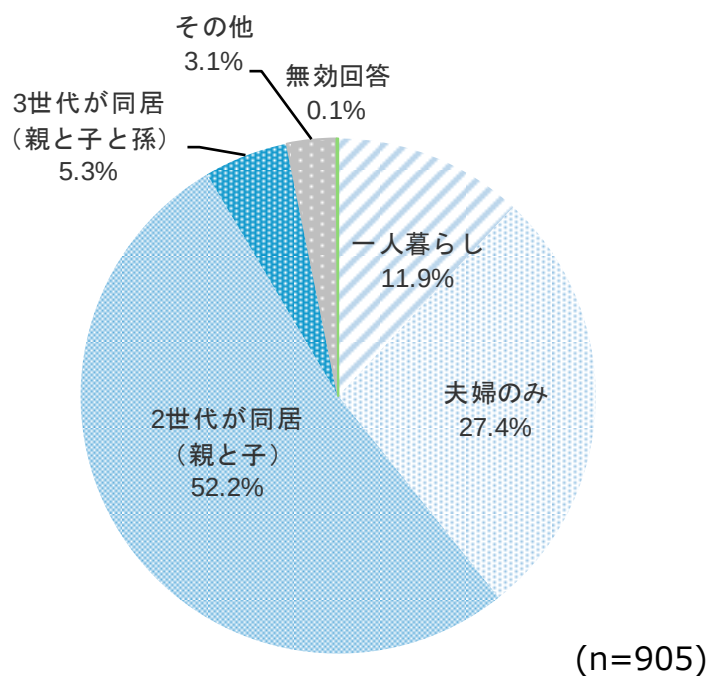
- 「70歳代」が20.9%と最も多く、次いで「60歳代」が19.6%、「40歳代」が14.9%となっています



1-8 回答者の基本属性（設問3_家族構成、設問4_同居家族構成）

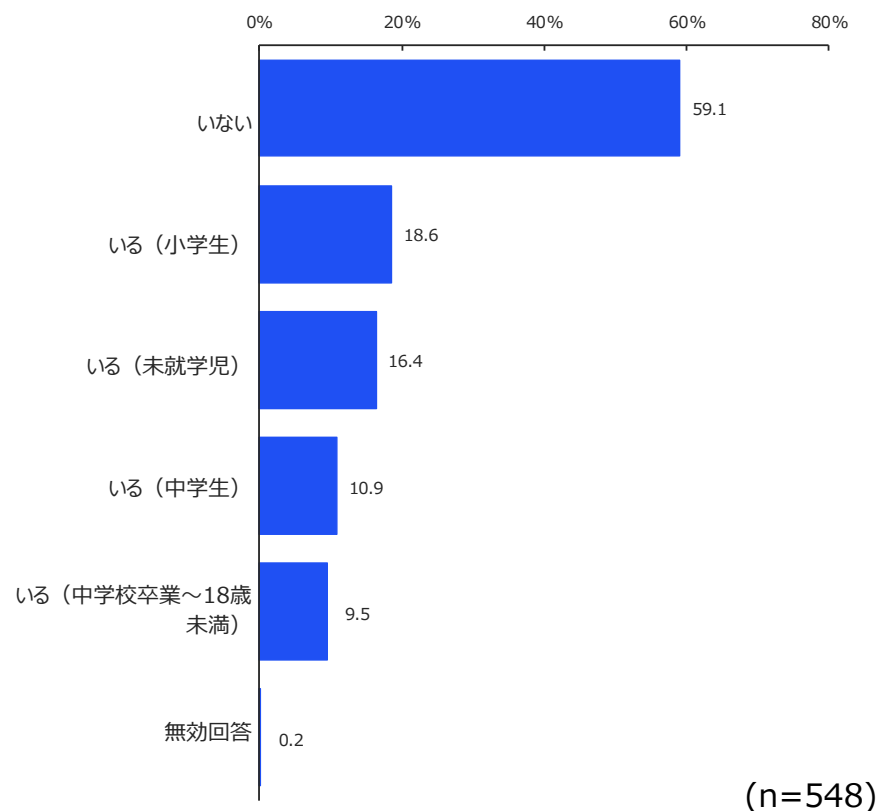
設問3. 家族構成を教えてください。（1つ選択）

- 回答者の家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が52.2%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が27.4%、「一人暮らし」が11.9%となっています



設問4. 同居家族に18歳未満のご家族はいますか。（複数選択）

- 回答者の同居家族としては、「いない」が59.1%で最も多く、次いで、「いる（小学生）」が18.6%、「いる（未就学児）」が16.4%となっています

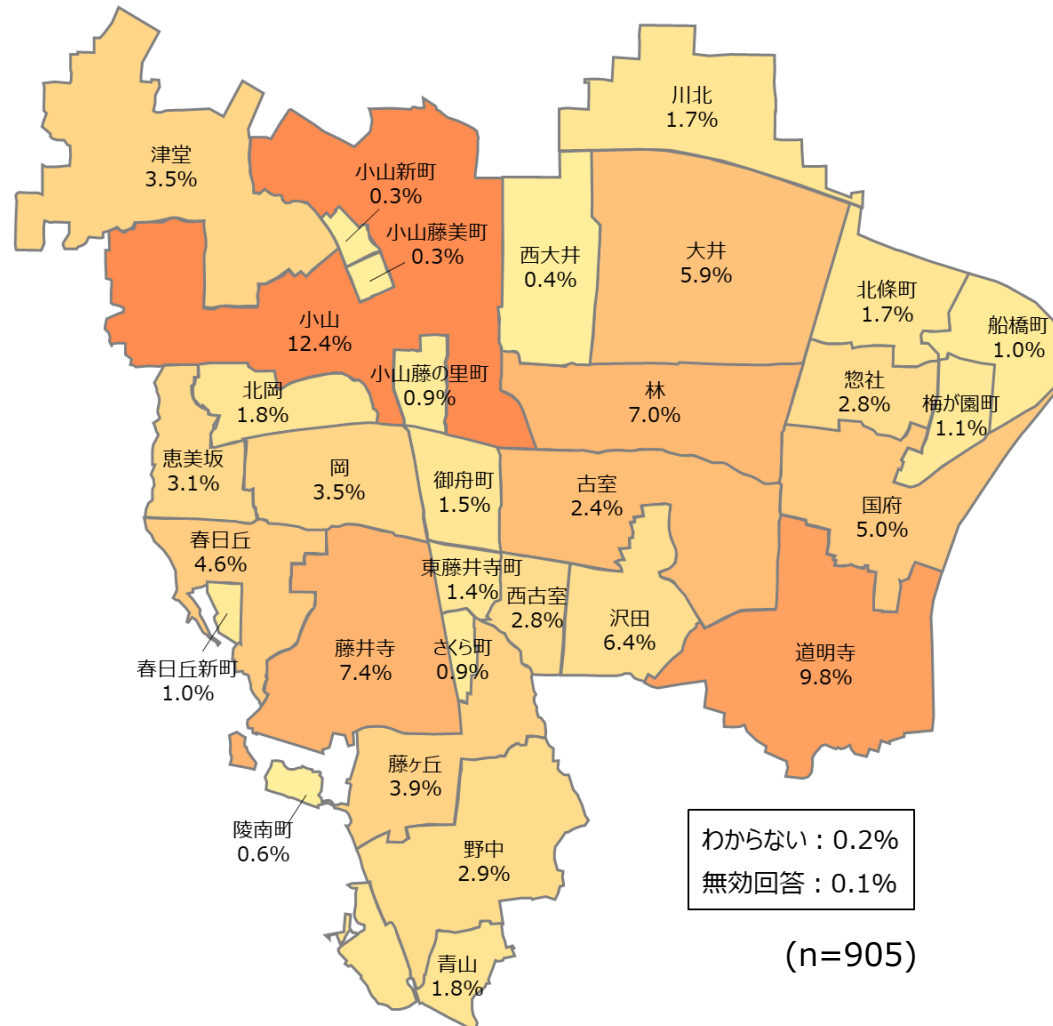


※設問4のn（＝回答者数）は設問3において「一人暮らし」「夫婦のみ」以外の回答者を表す

1-8 回答者の基本属性（設問5_住まい）

設問5. お住まいの町名を教えてください。（1つ選択）

- 回答者の住まいでは「小山」が12.4%と最も多く、次いで「道明寺」が9.8%、「藤井寺」が7.4%となっています



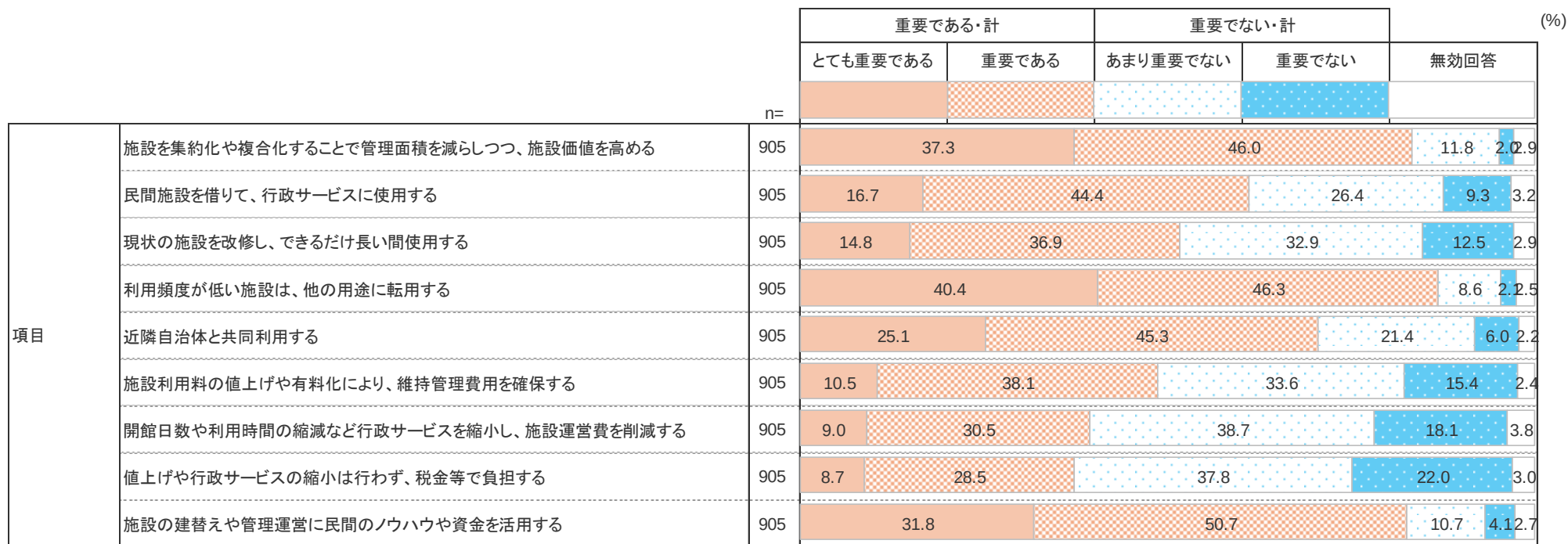
(n=905)

2 | 市民アンケート調査結果

2-1 今後の公共施設のあり方について（設問6／単純集計）

設問6. アンケート調査票のp.2～3「藤井寺市の現状と課題」より、将来、全ての公共施設を適切に維持管理していくことが難しくなると考えられる中、今後の公共施設に対する本市の望ましい取組の方向性として、どういった視点が重要だと思いますか。（項目ごとに重要度を1つ選択）

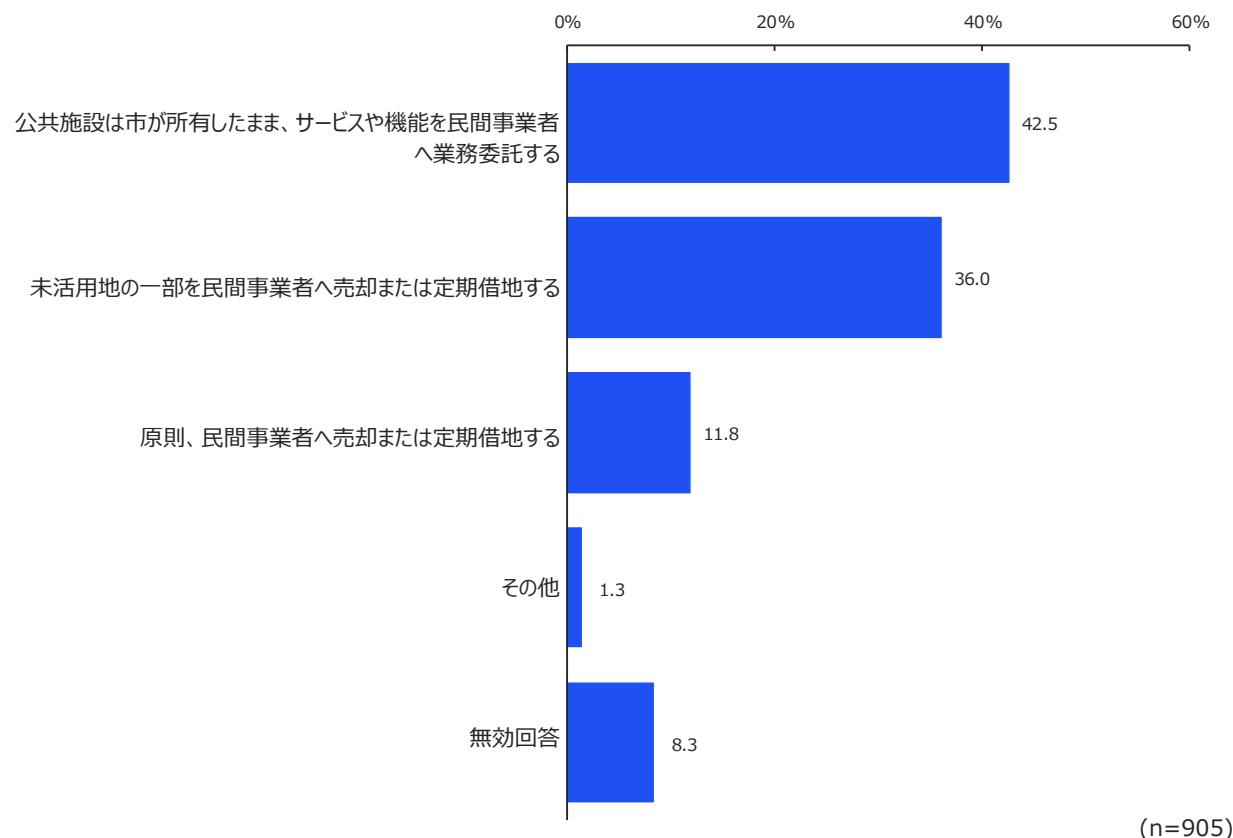
- 「重要である・計」の割合をみると、「施設を集約化や複合化することで管理面積を減らしつつ、施設価値を高める」が83.3%、「利用頻度が低い施設は、他の用途に転用する」が86.7%、「施設の建替えや管理運営の民間のノウハウや資金を活用する」が82.5%と他に比べて高い結果となっています



2-2 財政負担の軽減について（設問7／単純集計）

設問7. アンケート調査票のp.2～3「藤井寺市の現状と課題」より、人口が減少する中で、老朽化する公共施設の対応や市民サービスの維持・充実への対応などにおける市の財政負担の軽減を図るため、民間の資金やサービス、ノウハウなどを活用することが重要であると考えられます。民間の力を活用することについて望ましいと思うものはどれですか。（1つ選択）

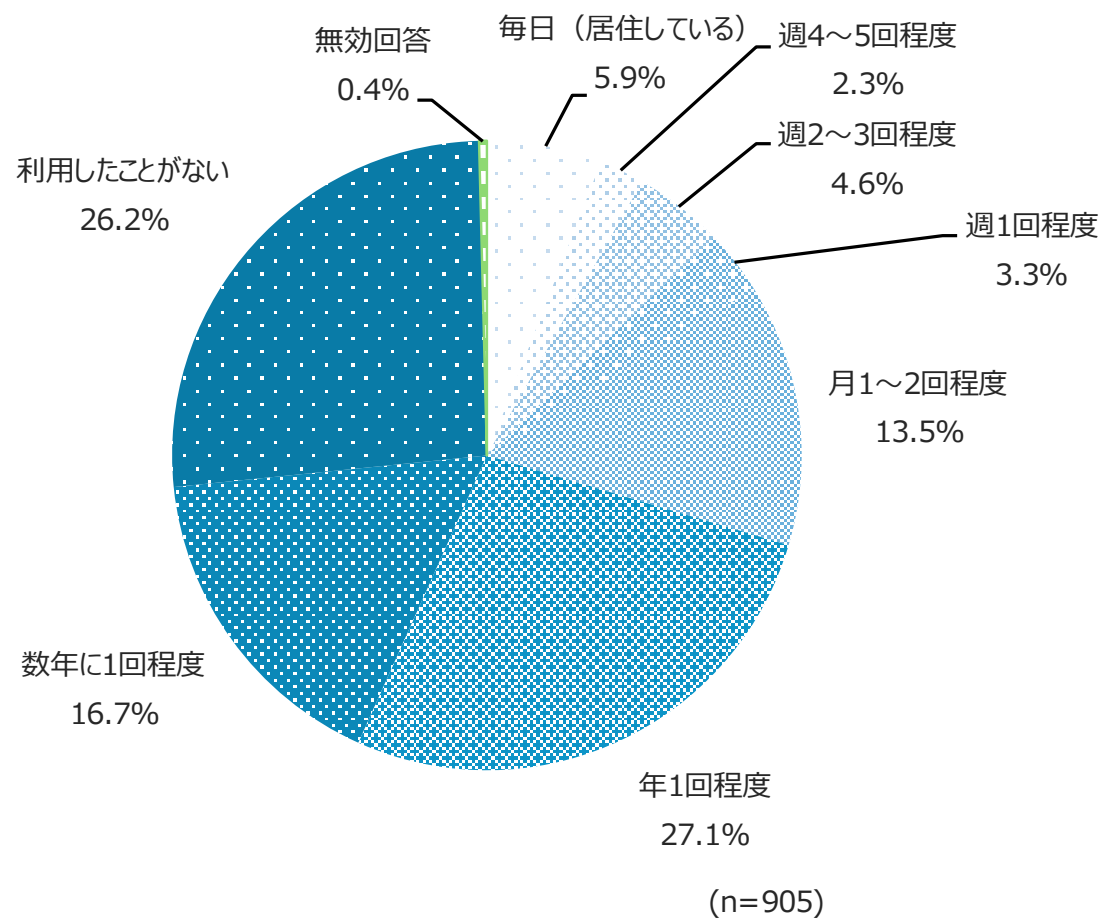
- 「公共施設は市が所有したまま、サービスや機能を民間事業者へ業務委託する」が42.5%と最も高く、次いで「未活用地の一部を民間事業者へ売却または定期借地する」が36.0%と高くなっており、「原則、民間事業者へ売却または定期借地する」に大きく差をつけています



2-3 市民病院跡地周辺を訪れる頻度（設問8／単純集計）

設問8. 市民病院跡地周辺（アンケート調査票のp.4の周辺地図付近）を、どれくらいの頻度で訪れていますか。（1つ選択）

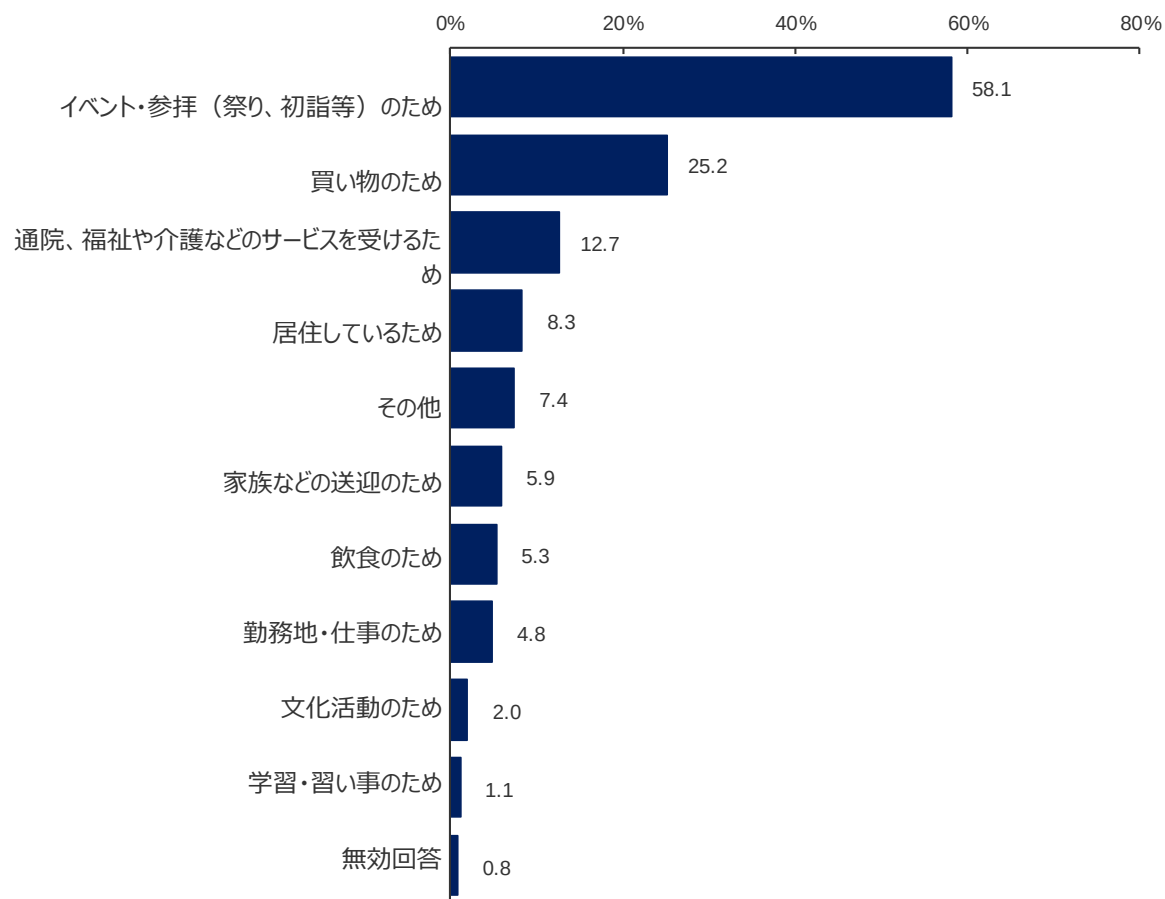
- 「年1回程度」が27.1%と最も多く、次いで「利用したことがない」が26.2%、「数年に1回程度」が16.7%となっています
- 「月に1回以上」訪れる方は全体の29.6%でした。（毎日～月1～2回の合計）



2-4 市民病院跡地周辺を訪れる主な目的（設問9／単純集計）

設問9.【設問8において「毎日（居住している）」～「数年に1回程度」を選択された方に伺います】市民病院跡地周辺（アンケート調査票のp.4の周辺地図付近）を、主にどのような目的で訪れていますか。（複数選択）

- 「イベント・参拝（祭り、初詣等）のため」が58.1%と最も多く、次いで、「買い物のため」が25.2%、「通院、福祉や介護などのサービスを受ける為」が12.7%となっており、日常的な利用が少なくなっています

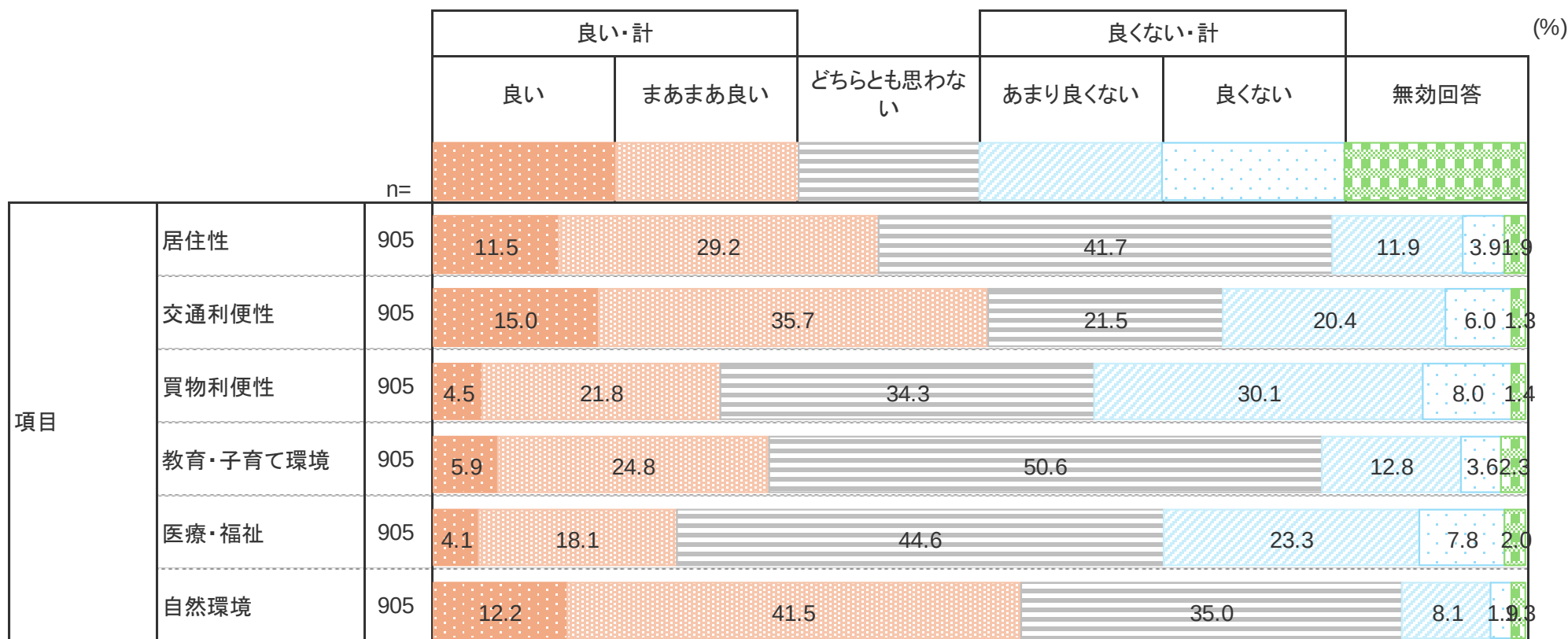


(n=664)

2-5 市民病院跡地周辺のイメージについて（設問10～15／単純集計）

設問10～15. 市民病院跡地周辺の各項目について最も当てはまるものを選択してください。（項目ごとに1つ選択）

- 「まあまあ良い」「良い」を合わせた割合は、「自然環境」が53.7%と最も高く、次いで「交通利便性」（50.7%）、「居住性」（40.7%）の順となっています



2-6 市民病院跡地に求める機能（設問16／単純集計）

設問16.人口減少、少子化・高齢化が進んでいくことを踏まえて、どのような機能が藤井寺市に必要であり、どのような機能を持たせた土地として市民病院跡地の活用を図っていくことが効果的だと思いますか。（項目ごとに重要度を1つ選択）

- 「重要である・計」及び「とても重要である」の割合をみると、「子ども子育て機能」「防災・減災機能」「医療機能」「高齢者福祉機能」「オープンスペース機能」「教育・学習機能」が上位6つを占めています

			重要である・計		重要でない・計				(%)
			とても重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない	無効回答		
n=									
項目	教育・学習機能（図書スペース、自習室、生涯学習の場など）	905	23.1	42.4	23.3	7.2	4.0		
	子ども子育て機能（保育所、室内遊び場、子育て相談など）	905	34.1	42.1	15.5	4.9	3.4		
	医療機能（診療所、調剤薬局など）	905	34.5	38.9	17.2	6.7	2.7		
	高齢者福祉機能（介護施設、高齢者のコミュニティや活動の場など）	905	25.4	44.3	18.8	9.4	2.1		
	障がい者福祉機能（就労継続支援施設など）	905	18.5	44.6	24.1	9.4	3.4		
	健康増進機能（トレーニングスタジオ、運動機能向上施設など）	905	15.7	35.8	33.0	13.3	2.2		
	活動・交流機能（コミュニティセンター、地域活動の場など）	905	15.7	37.9	31.5	12.3	2.7		
	小規模商業施設（飲食店、物品・日用品販売店舗など）	905	21.5	32.3	31.0	12.3	2.9		
	観光機能（特産品展示販売、地域・観光情報発信拠点など）	905	9.4	23.9	41.8	21.9	3.1		
	芸術・文化機能（多目的ホールなど）	905	8.3	22.7	45.2	20.6	3.3		
	オープンスペース機能（公園・緑地・広場など）	905	27.6	39.6	21.0	9.3	2.5		
	生活サービス機能（理髪店、銀行、不動産業など）	905	7.1	20.2	45.4	24.1	3.2		
	居住機能（マンション、高齢者専用住宅など）	905	10.3	30.2	36.7	20.0	2.9		
	交通機能（駐車場など）	905	9.6	26.9	37.3	22.9	3.3		
	防災・減災機能（避難施設、防災拠点施設、備蓄倉庫など）	905	31.7	44.5	15.2	6.0	2.5		

＜まとめ＞ 市民アンケート調査結果

設問項目	調査結果	まとめ
今後の公共施設のあり方について	「施設を集約化や複合化することで管理面積を減らしつつ、施設価値を高める」、「利用頻度が低い施設は、他の用途に転用する」、「施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」の3つが、「重要である」「とても重要である」の回答割合が8割を超え上位となっています	- 市として必要な公共施設機能を維持したまま、機能同士の相乗効果を生み出すことが期待できるような集約化や複合化を目指す必要があると考えられます - 民間事業者が担えるサービス・機能については積極的な民間活力の活用が望まれています
財政負担の軽減について	「公共施設は市が所有したまま、サービスや機能を民間事業者へ業務委託する」、「未活用地の一部を民間事業者へ売却または定期借地する」の回答が高く表れ、2つの回答割合が7割を超える結果となっています	- 公共施設を一体的に活用した上でPPP/PFI手法や民間委託とするか、敷地の一部を売却または定期借地をすることが望まれていると考えられます - 敷地一括の売却または定期借地は望まれていないと考えられます
市民病院跡地に求める機能について	「重要である・計」及び「とても重要である」の割合をみると、「子ども子育て機能」「防災・減災機能」「医療機能」「高齢者福祉機能」「オープンスペース機能」「教育・学習機能」が上位6つを占めています	幅広い世代の方々が安心・安全に利用できる施設とする必要があると考えられます